

経営比較分析表（平成30年度決算）

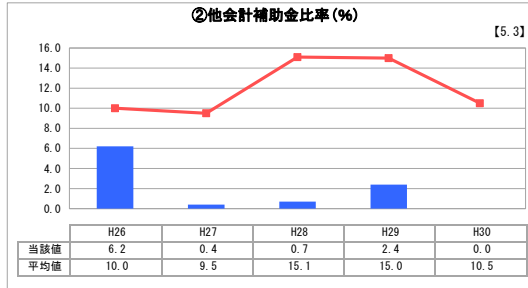
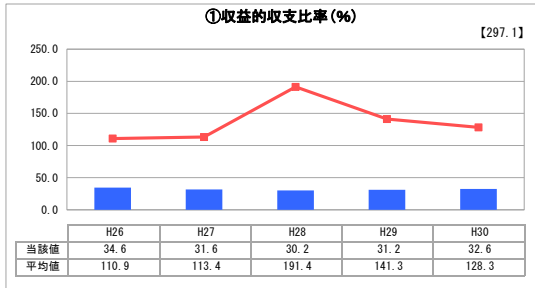
香川県坂出市 坂出駅北口地下駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A2B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場 届出駐車場	地下式	18	

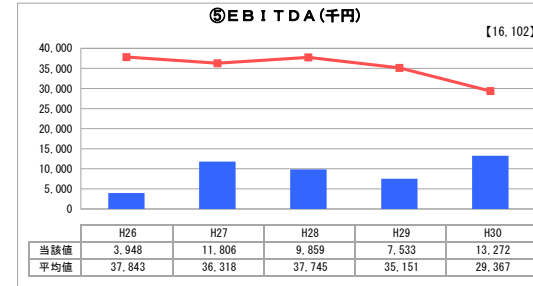
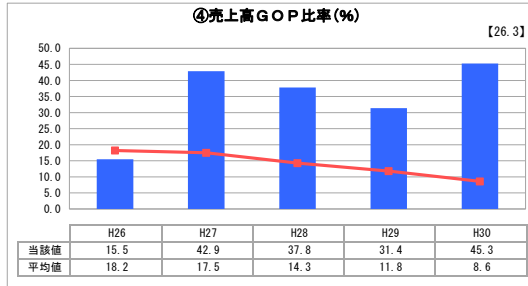
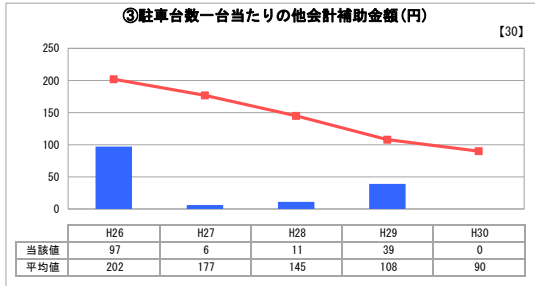
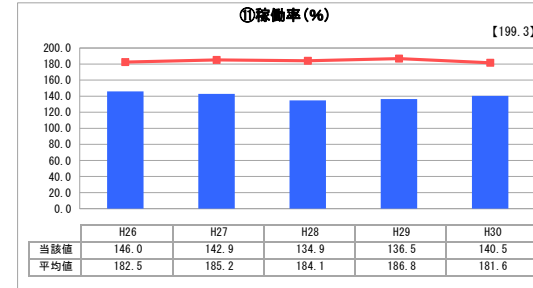
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
駅	無	5,247
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
126	200	導入なし

グラフ凡例
■ 当該施設値 (当該値)
— 類似施設平均値 (平均値)
【】 平成30年度全国平均

1. 収益等の状況



3. 利用の状況



2. 資産等の状況

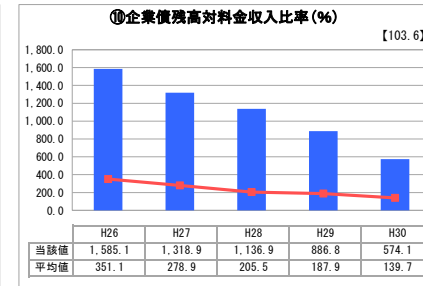


⑦敷地の地価(千円)

0

⑧設備投資見込額(千円)

0



分析欄

1. 収益等の状況について
 ①収益的収支比率より数値が100%未満のため赤字経営となっている。これは施設の建設費に伴う地方債償還金額が大きく、営業収益だけでは賄えきれず、一般会計から繰入を行っているからである。地方債償還金はR4年度まで残っているため、今後も厳しい経営状況が続くと思われるので経費削減等に努めていく。
 ④売上高GOP比率と⑤EBITDA比率は減少傾向にあったが、H30年度は数値が回復し経営状況が良くなった。この要因としてH30年度は西日本豪雨によりJR予讃線間で一部運行休止が生じ、駐車場の利用者が増え例年に比べ料金収入が増えたことが原因であると思われる。

2. 資産等の状況について
 建設から18年が過ぎ、耐用年数を超えてきた機器等が出てきたため、優先度が高いものから機器の更新や修繕を実施していく。
 ⑩企業債残高対料金収入比率については、地方債償還金額の合計残額が減少しているため比率が減少しているが、依然として平均値よりも高いため設備更新の財源を含め経営改善に努めていく必要がある。

3. 利用の状況について
 H30年度はH29年度より4%上昇したが、依然として稼働率は平均値より大幅に低くなっている。その要因として、周辺に最大料金が当該駐車場の半額程度の民間駐車場があること、長期間利用者が多いことが考えられる。
 稼働率を向上するために、上限金額の値下げが考えられるが、値下げをすることによって長時間利用を誘発し、稼働率の向上に直結するとは言えない。稼働率の向上については、周辺の駐車料金だけでなく、消費者の動向等も視野に入れ検討していく必要がある。

全体総括
 地方債償還金がR4年度まで残っているため、今後も厳しい経営状況が続くと思われる。しかしながら、現状の経営状況から営業収益が維持管理費を上回っているため、地方債償還後は黒字経営が見込める。ただ、依然としてR4年度までは厳しい経営状況が続くため、経費削減等の地道な努力や、近隣の駐車場や利用者の動向等周囲を取り巻く環境を把握し、収益の増加に取り組む必要がある。
 当該駐車場は、駅周辺の都市機能の強化を図ると共に、渋滞の緩和及び交通事故の防止を目的に設置されているため、本来の目的を見失わないよう、これらの資料を参考にしR2年度までに経営戦略の策定を目標にする。策定にあたっては、現状の資産状況をよく把握した上で、投資・財政計画(収支計画)の作成が重要となる。